



わたなべ正博 通信



日本共産党議員団

視察報告 (5/21・22)

《部内資料》

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

群馬県高崎市 「まちなか商店」

リニューアル助成

事業に注目し、昨年の9月議会で、上田市でも検討したかどうか、という提案にたいし、商工観光部長は、「ニーズがあるのか調査をしたい」と答弁。

同時に先の市議選での私の選挙公約でもありました。今回の視察では行政側の話を聞くことはできませんでしたが、富岡賢治高崎市長の決断に大きな役割を果たした高崎民主商工会で話を聞き、昼食はこの制度を活用して店舗の改装したお店で摂りました。

民商の総会に出席してひらめいた

富岡市長は、初めて参加した高崎民主商工会（民商）の総会で住宅リフォーム助成創設の要望を受け、市として「群馬県で一番いい制度」を創設。

これをヒントに全国で成功していなかった商店街の活性化にとりくみ、100万円を上限とする「まちなか商店リニューアル助成事業」を実現した。「民商の総会に出なかったら思いがなかつたかもしれない」と語ったそうです。

リフォームして商売に弾みがつき利益増

開店して10年、この制度を民商から聞いて改装を決めたという和食料理屋「和膳 おおつ」。



工事費用380万円、融資280万円、100万円

の補助金は大きかった。豊から椅子への改装は、お客様にも好評、配膳も楽になりました。

「商売に弾みをつけてくれる制度ですね」と女将さん。ごちそうさまでした。

「地域活性化への挑戦」

富岡賢治高崎市長講演より 小さな業者を支援するのが自治体の役割

地方都市の最大の課題は一つ、まちなかの商店街の活性化、商店のシャッターを上げさせることに尽きる。一過性のものではなく、普段の活性化をどう図るかということが一番難しい課題。

アベノミクスは、お金持ちや大企業には非常に明るい展望でしょうが、中小企業や零細な人たちには明るい希望は期待できない。だから地方自治体がやることは全部やろう。その

ことを考えるのが自治体の仕事だと思っています。多少波風が立ったほうがいいとも考えて、リフォーム補助金の商店版をつくってやろうと考えた・・・。

【6月】わたなべ正博のノート

- 1日 獅子舞保存会「祇園祭に向けて」
- 2日 上田駅モーニングスピーチ
- 3日 代表質問原稿準備
- 4日 議会広報正副委員長会議
- 5日 代表質問「聞き取り」
- 6日 生活相談（法律事務所）
- 7日 東塩田小学校運動会
- 8日 桜ライン上映実行委員会
- 9日 下之郷水士里守り隊役員会
- 10日 代表質問・一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 議会広報特別委員会
- 13日 議会広報特別委員会（議案審議）
- 14日 議会産業水道委員会
- 15日 平和行進実行委員会
- 16日 党塩田西後援会（温泉の旅）
- 17日 「あいそめの湯」入館者150万人達成記念祝賀会
- 18日 街頭宣伝
- 19日 上田駅前モーニングスピーチ
- 20日 党市議団会議
- 21日 塩田文化財保護協会総会
- 22日 モルティ街宣
- 23日 医療生協通常総代会
- 24日 浅間池草刈り
- 25日 民主商工会総会
- 26日 東塩田交通安全協会表彰伝達式
- 27日 6月議会閉会
- 28日 モルティ街宣
- 29日 県政報告会「上田創造館」
- 30日 上田駅前モーニングスピーチ

世界遺産登録で今話題の 富岡製糸場に立ち寄りまし

1日の労働時間は 8時間未満

フランス式の労働環境を

取り入れた富岡製糸場は、女性が働く環境としてとても先進的で、労働時間は一日八時間未満、日曜日は休みで、夏休み冬休みも十日ずつあったそうです。



明治5(1872)年設立の
官営模範製糸工場

また、工女たちは馴染みの呉服店に出かけては月払いで着物を買ひ、休日

にはおしやれをして出かけたそうです。よく働き休日にも楽しむ青春の時間を楽しんでいたようです。



ただ、戦争が迫る昭和期、工女たちの生活は一変……。製糸場はパラシユート用糸の生産工場に……。空襲で製糸場上空にB29が飛来すると、工女たちは地下のワイン倉庫に避難したそうです。



群馬県桐生市 国民健康保険税を引 き下げた主な動機

①現状、資産割は被保険者の税負担能力に必ずしも直結していないなどの理由で、被保険者の理解が得られにくい。

②国民健康保険税の広域化(都道府県)にたいする目途が平成29年度が示された。

③県の広域化等支援方針において、広域化する際には「3方式」(所得割、均等割、平等割)による賦課をめざすこととされている。

④国民健康保険基金の残高が16億円あまりとなっている。

⑤消費税引き上げに伴い、被保険者の税負担増加が見込まれる。

*モデル世帯(3人世帯・所得202万・固定資産税6.8万)で年間26500円の引き下げになった



桐生市 「人口減少対策」 住宅取得に最高200万円補助

人口減対策の話を知っている同時刻に行われた亀山豊文桐生市長による定例会見で、人口増に結びつけるため、市外からの転入者に厚く助成する制度として住宅取得費用を最高200万円補助する新事業を実施することの発表がありました。

同市は、昨年度、若者層の市外流出と、それに伴う年齢構成のバランスを是正するための人口対策室を設

け子育て、雇用、教育、婚活支援など、総合的な対策に取り組んでいます。桐生市議会としても最重要課題かつ喫緊の課題として協議を重ねているということでした。

全国の地方都市の抱える深刻な課題であることをあらためて認識を深めました。

5月の連休に子どもたちと「天下山マレットゴルフ場」に出かけました。1年に3回しかチャンスのない貴重な集合写真です。

